

令和元年 第4回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「令和元年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議員各位におかれましては、先に執行されました、市議会議員選挙において、市民の厚い信頼と期待を担い、めでたくご当選されましたことを、心からお祝い申し上げます。

今後とも、市政進展のため、格別のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、東日本に大きな被害をもたらした台風19号は、県内で初めて大雨特別警報が発表されたことにより、市内全域に避難指示を発令したところであります。

市が開設した指定避難所と自主的に開設していただいた地区公民館などに832世帯2,040の方が避難されました。

幸いにも人的被害をはじめ、大規模な土砂災害や浸水被害などはありませんでしたが、倒木や道路の通行止め、穂坂町と旭町などでは、長時間の停電が発生しました。

また、強風による屋根の一部破損や物置の損壊、大雨に伴う釜無川右岸堤防の浸食などがあり、各地域の詳細な被害状況につきましても地区長から報告をいただいたところであります。

今後は、この度の経験をもとに様々な検証を行い、さらなる「安全・安心に暮らせる強いまちづくり」に取り組んでまいる所存であります。

なお、開催を予定しておりました市制施行65周年記念式典や「武田の里フェスタ・葦崎」につきましては、残念ながら中止を余儀なくされ、関係各位には、多大なご迷惑をおかけいたしました。

先月16日に、市内の養豚場において感染が確認された豚コレラにつきましては、発生直後から防疫措置が実施され、これに本市職員も4日間にわたり延べ130名が協力するなか、殺処分及び埋却などの措置が終了したところであります。

現在、さらなる感染を防ぐため、県において発生農場を中心とした移動制限区域などを設定するとともに、主要道路に消毒ポイントを設置し、車両の消毒を継続しております。

過日の、市職員による自動車運転事故につきましては、関係者に多大なご迷惑をおかけしたことを心より深くお詫び申し上げます。

被害にあわれた方の1日も早い回復をお祈りしております。

今後はさらに職員の交通安全意識を高め、再発防止に取り組んでまいります。

さて、既に報道されているとおり、文田健一郎選手が、過日行われたレスリング世界選手権で見事優勝し、2020年東京オリンピック代表に決まりました。

先日、優勝の報告に市役所を訪れていただいた際に、「これからもさらに練習し、完成した自分のレスリングを見せられるよう頑張ります。」と抱負を語ってくれました。

文田選手のご活躍を祈念するとともに、市を挙げて応援してまいります。

また、本市出身の落語家、春風亭弁橋さんが、山梨県では41年ぶりとなる「二つ目」に昇進いたしました。

昇進後最初の地元凱旋は、葎崎大村記念図書館での「昇進お披露目寄席」として開催され、多くの方が来場いたしました。

二人の若者の活躍は、市民に喜びと活力を与えてくれました。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、市営総合運動場についてであります。

本年2月に設置いたしました「整備検討委員会」において、各界各層の委員の皆様にご審議をいただき、「基本構想」を策定したところであります。

整備予定地につきましては、委員会での議論を踏まえ、交通の利便性、新たな用地取得や造成に対する財政負担、管理の分散化への懸念などを理由として、現在地を選定いたしました。

今後は、各施設の配置計画や民間活力の導入を含めた事業実施手法の検討を進め、本年度中に「基本計画」を策定することとしております。

次に、子育て環境の充実についてであります。

葎崎西保育園の民営化につきましては、昨年8月に評価検証委員会を設置し、多角的に検証していただいた結果、保育園運営や保育内容、また、保護者との関係等いずれの項目についても満足度が高く、財政負担

の軽減効果も認められることから所期の目的を達成していると評価され、葦崎東保育園についても民営化することが望ましいとの結論をいただきました。

今後は、この検証結果を踏まえ、準備を進めてまいります。

次に、文化・芸術の振興についてであります。

葦崎大村美術館において、初の試みとして「ナイトミュージアム」を過日開催いたしました。

普段とは違う雰囲気の中、子どもから大人まで約300人の来館者で賑わい、芸術の秋を堪能していただきました。

また、今月7日から明年3月1日まで、「追悼—堀文子展」を開催いたします。

惜しまれつつこの世を去った日本画家・堀文子氏の美術館所蔵の作品の展示のほか、1月には大村智館長によるギャラリートークを予定しておりますので、多くの皆様のご来館をお待ちしております。

次に、公共交通網の整備についてであります。

昨年10月より運行をはじめた市民バス竜岡線につきましては、さらなる利便性の向上を図るため、明年2月より、葦崎西中学校の生徒などの利用を考慮し、若尾新田地区及び市道大草1号線を経由するルートに変更いたします。

今後も利用しやすい市民バスとなるよう、努めてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

ユネスコエコパークに登録された南アルプスや市内から望む美しい富士山など、本市が有する地域資源を広く全国にPRするため、この度、総合アウトドアメーカー・株式会社モンベルのフレンドタウンに登録することといたしました。

この登録により、約90万人のモンベル会員に対して、ウェブサイトを通じた情報提供が可能となることから、より効果的な山岳観光等の魅力の発信を進めてまいります。

今後は、包括連携協定の締結も予定しており、モンベルグループのノウハウを活用した環境保全意識の醸成や、災害対応力の向上など、様々な連携事業を展開し、地域の活性化を図ってまいります。

次に、マイナンバーカードの普及促進についてであります。

安心・安全で利便性の高いデジタル社会を早期実現するため、国では強  
力に普及を推進することとしております。

これに伴い、本市では「マイナンバーカード交付円滑化計画」を策定し  
たところであり、今後、制度の周知はもとより、夜間の窓口を開設するな  
ど交付の促進に努めてまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会  
以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につ  
きましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところでありま  
す。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	1件、
予算案件	4件、
条例案件	1件、
その他案件	2件であります。

まず、補正予算の専決事項についてであります。

台風19号による、住宅や農業用施設の一部損壊により発生した災害  
廃棄物の処理経費、農業用施設の修繕、再建に対する助成経費、市道や  
公共施設の災害復旧に要する経費として、また、モモせん孔細菌病対策  
のため、7,759万円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補  
正予算第3号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、本議会でご審議いただく一般会計補正予算についてその概要を  
申し上げます。

今回の補正につきましては、個人市民税、固定資産税の増額補正、人  
事院勧告に基づく給与改定による職員給与費の増額補正、及び緊急性を  
生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、議員報酬等の確定見込により、  
441万4千円を減額補正しております。

次に、総務費であります。

ふるさと応援寄附金の増収により、返礼品の購入費用等として、ふる

さと納税事業費に1,990万4千円、財政調整基金積立金に2,054万6千円を追加計上するなど、総額4,744万8千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

平成30年度の障害者自立支援給付費等負担金などの精算により、国庫支出金等返還金に1,381万5千円、受給対象者の見込により、児童扶養手当施行事業費に1,137万1千円を追加計上するなど、総額3,081万7千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

峡北広域行政事務組合のごみ処理特別会計負担金の確定により、201万6千円を減額する一方、市立病院の診察室改修のため、病院事業会計補助金に327万2千円を追加計上するなど、総額332万6千円を増額補正しております。

次に、労働費についてであります。光熱水費の不足が見込まれるため、勤労青年センター管理運営費を28万円増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

農業後継者が経営規模の拡大を図るため導入する農業用機械のリース費用に対する助成として、農業団体育成事業費に197万円、被害防止のための原材料費として、有害鳥獣駆除対策事業費に105万3千円を追加計上するなど、総額546万5千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

起業支援補助金や小規模店舗改修費補助金の申請件数の増加により、中小企業等支援事業費に207万8千円を追加計上するなど、総額294万8千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

古川左岸道路整備負担金の確定等により、市単独道路整備事業費に2,336万9千円、道路の一部詳細設計業務委託経費として、市道穂坂97号線道路整備事業費に2,387万円を追加計上するなど、総額5,728万3千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

峡北広域行政事務組合の常備消防特別会計負担金の確定により、110万7千円を減額する一方、老朽化した防火水槽等の改修経費として、消防施設維持管理費に167万8千円を追加計上するなど、総額79万8千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

円野屋内運動場建設予定地の地図訂正の経費として、地域体育館建設事業費に370万円、光熱水費の増加により、小学校運営事業費に282万1千円、中学校運営事業費に183万1千円を追加計上するなど、総額1,543万3千円を増額補正しております。

次に、災害復旧費であります。

台風19号により被害を受けました黒沢川河川敷内の榎田堰（えのきだせき）の復旧経費として、8,000万円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2億3,938万4千円を増額補正となり、現計予算額は、150億9,843万4千円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案についてであります。

下水道事業特別会計につきましては、平成30年度の消費税額の確定等により、総額968万2千円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、診療単価の増加見込により、病院事業収益を1億1,736万4千円、病院事業費用も薬品費や職員給与費の増額により、6,773万9千円増額補正しております。

第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計につきましては、前年度繰越金を財政調整基金に積み立てるため、116万円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

令和元年12月5日

葦崎市長 内藤久夫